

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	一番の心構えの事業所の理念が整っておらず、職員への周知ができていない。また、事業所の特徴が出ていない。	理念をわかりやすく簡潔に変えていく。	理念をわかりやすく復唱できるよう、利用者や家族にあわせた簡潔なものとし、利用者や家族にもわかるように1行で提示する。	12ヶ月
2	4	運営推進会議の開催回数が少なく、議題が現状の報告などで内容に乏しい。	家族会ではなく、運営推進会議としての議題を設ける。	ヒヤリハット、介護の基礎知識の周知などを議題とし、また地域住民へ介護相談をするなど地域のために発信をしていく。	12ヶ月
3	6	職員の社内研修をほとんど行っていない。	年間研修計画を作り、職員の研修への参加と学ぶ意識の向上を図っていく。	身体拘束防止、虐待防止の研修などを企画していく。	12ヶ月
4	26	介護計画が家族にうまく伝わっていない。	家族にわかりやすく説明していく。	丁寧な話し合いの機会と場を作っていく。	12ヶ月
5	35	避難訓練の内容に乏しい。関係機関との話し合いの機会などが無い。	災害に対する危機意識を持つようにする。	年1回の消防署立会いの避難訓練、備蓄の見直しをする。災害についての共有課題を地域の方々と職員とで話し合い、お互いに共有していく機会を作る。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。